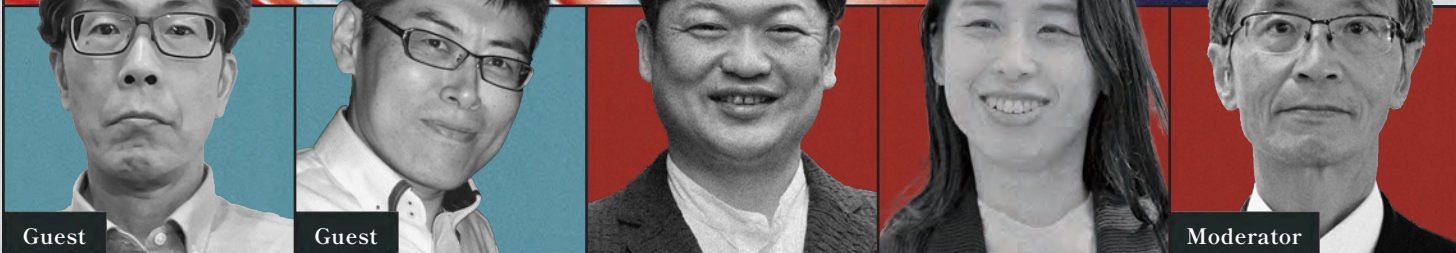


# 動的な知覚・行動と ウェルビーイングの 未来図

「揺らぎ」の時代に認知科学が紐解く、心の姿



Guest

Guest

Moderator

西田 真也

京都大学大学院  
情報学研究科 教授

八十島 安伸

大阪大学大学院  
人間科学研究科 教授

和田 有史

立命館大学RARAアソシエイトフェロー  
食マネジメント学部 教授

布山 美慕

立命館大学RARAアソシエイトフェロー  
文学部 准教授

定藤 規弘

立命館大学RARAフェロー  
総合科学技術研究機構 教授

2025.3.12.wed  
9:30~14:20 (開場9:00 / 昼休憩あり)

会場:立命館大学朱雀キャンパス 5階ホール + zoomライブ配信

対象:研究者・高校生・学部生・大学院生・一般のみなさま

参加費無料・事前申込制 (定員になり次第、申込受付を締め切ります)

申込締切:3月9日(日)23:59 定員:現地参加 400名/オンライン参加 500名

使用言語 日本語

情報保障 UDTークによる字幕配信あり

日本語字幕、Google翻訳による他言語字幕が  
必要な方は、申込フォームにてお知らせください。

お申し込みはこちら



<https://rararits250312.peatix.com>

同時開催:RARA学生フェローによるポスターセッション

## 注目が高まる認知科学の見地から

### 「揺らぎ」の時代に、人間らしさとウェルビーイングの未来を紐解く

アフターコロナの社会で、人間のあり方は劇的に変化しています。生成AIの発展が人間の認知や行動を揺さぶり、新たな可能性と課題を提示しています。社会が激変する中、私たちが人間らしさを失わず、ウェルビーイングを求めて、豊かな未来を描くヒントとは――。

人間の記憶や思考、感情、ストレスなどを科学的に分析する認知科学は、心理学、神経科学、言語学、哲学などが交差する学際的な領域で、人間が自分や

他者をより深く理解したいという根源的な欲求からも注目が高まっています。

本シンポジウムでは質感認知、五感統合、行動の動因、認知の不定性を切り口に、認知科学の最前線の研究をご紹介します。私たちの知覚や行動がどのように現れ、変動するのか、揺らぎの中で心身のウェルビーイングがどのように形成され、未来社会にどう影響するのかを議論します。奮ってご参加ください。

### RARAを起点に学内外の多様な研究者を繋ぐ結合点に―― 次世代のイノベーションハブを志向する立命館大学の挑戦

立命館大学では、学園ビジョンR2030「挑戦をもっと自由に。」のもと、社会共生価値の創造とイノベーションに取り組む「次世代研究大学」の実現に向けて歩みを進めています。

2021年、さらなる研究高度化を牽引する制度として先導的・先進的研究拠点の形成を担う中核研究者の集まり「立命館先進研究アカデミー」(英語名称: Ritsumeikan Advanced Research Academy(RARA))を設立しました。



RARAウェブサイト

## Timetable

9:30 オープニング 開場9:00

立命館大学学長 仲谷 善雄より挨拶  
和田 有史より趣旨説明

9:45 登壇者より講演(各25分+質疑応答5分)

西田 真也  
「質感の認知科学の最前線と応用」  
和田 有史  
「多感覚がもたらす食の喜び」  
八十島 安伸  
「自己制御を捉え直す:食を始める、止める、止められない」  
布山 美慕  
「不定性を伴う認知:文学と絵画鑑賞を事例に」

11:50~12:50 休憩 / グラフィックレコーディング制作

グラフィックレコーダー:守随 佑果

RARA学生フェロー  
ポスターセッション(\*)

12:50 グラフィックレコーディング解説・コメント

モデレーター:定藤 規弘

13:05 パネルディスカッション+質疑応答

14:20 終了予定

\*RARAでは、次世代研究者である博士後期課程の大学院生を「RARA学生フェロー」として採択し支援しています。休憩時間中に、2024年度修了予定の学生フェローらによるポスターセッションを行います。お気軽にお立ち寄りください(会場5階ホール前/1階多目的室1)。

## Profile (敬称略)

### 西田 真也 SHINYA NISHIDA

京都大学大学院情報学研究科 教授  
専門は感覚・認知情報学。心理物理学のアプローチで人間の運動知覚、質感知覚などの仕組みを研究。NTTコミュニケーション科学基礎研究所 席特別研究員等を経て2019年度より現職。科研費学術革新領域研究(A)「実世界の奥深い、質感情報の分析と生成」領域代表。博士(文学)。

### 八十島 安伸 YASUNOBU YASOSHIMA

大阪大学大学院人間科学研究科 教授  
専門は行動神経科学。摂食行動における学習・記憶や情動、動機づけの脳・生理機構を分子・神経回路・行動などの多階層的視座から解析することで、人や動物の行動を司る生命機能の「精妙さ・美しさ」の解明に取り組んでいる。2017年度より現職。博士(人間科学)。

### 和田 有史 YUJI WADA

立命館大学RARAアソシエイトフェロー / 食マネジメント学部 教授  
専門は実験心理学。“食”をモチーフに多感覚知覚、消費者認知などの研究を行い、人の心のメカニズムの解明とその知見に基づく応用技術の開発を目指している。農研機構食品総合研究所主任研究員等を経て2017年度より現職。博士(心理学)。専門官能評価士。

### 布山 美慕 MIHO FUYAMA

立命館大学RARAアソシエイトフェロー / 文学部 准教授  
専門は認知科学。科学技術振興機構CREST研究課題「量子的認知状態の遷移とその効果:不定性の価値と制御」の研究代表として、本質的な定まらなさをもつ認知状態とその効果の研究を、主に文学や芸術の認知を対象としてすすめる。2022年度より現職。博士(学術)。

### 定藤 規弘 NORIHIRO SADATO

立命館大学RARAフェロー / 総合科学技術研究機構 教授  
専門は画像診断学、システム脳科学。機能的MRIを用いて認知、記憶、思考、行動、情動、社会能力などに関連する脳活動計測を行っている。自然科学研究機構生理学研究所教授を経て2023年度より現職。博士(医学)。放射線科専門医。

### 守随 佑果 YUKA SHUZUI

グラフィックレコーダー  
幼稚園教諭、絵本の出版社でのプロモーション、保育園運営会社の管理運営を経て、フリーランスに。2018年よりグラフィックレコーダーとして活動を開始。NewsPicksの水曜放送のライブ動画番組「WEEKLY OCHIAI」に出演。

## Access



立命館大学 朱雀キャンパス (京都市中京区西ノ京朱雀町1)

- JR「二条駅」から徒歩約2分
- 京都市営地下鉄東西線「二条駅」から徒歩約2分
- 阪急京都線「大宮駅」から徒歩約12分
- 京都市営バス「千本三条・朱雀立命館前」下車すぐ、「二条駅前」から徒歩約2分

問い合わせ先:立命館大学研究部RARAオフィス rararits@st.ritsume.ac.jp